

本校の調査結果の概要と改善案

1 平均正答率

	国語	数学	理科
本校	70%	52%	46%
神奈川県	69%	53%	50%
全国	69%	51.4%	49.3%

2 各教科の調査結果の分析

<国語について>

・優れている点として

平均正答率が神奈川県・全国をともに上回る結果となりました。特に優れていたのは「文学的文章」の読解で、中でも表現技法を問われた設問において、全国正答率が52.5%に対し本校は65.7%と大幅に優れた成果を修めました。比喻などの表現の工夫を理解し、物語の登場人物の心情を捉える力が身についています。

・改善を要する点として

「情報の扱い方に関する事項」が全国平均をやや下回りました。具体的には、資料の一部から必要な情報を引用し、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書く力を問われた設問です。情報活用力が今後の課題であることが分かりました。

・具体的な改善案

一人一台クロムブックがある学習環境の中、様々な情報に触れる機会は格段に増えていますが、情報を得るだけでなく、その情報をもとに自分の意見をいかに論理的に組み立て表現するか、という授業を展開していければと思います。

<数学について>

・優れている点として

全体的には全国平均と変わらない結果でした。その中でも領域別で「数と式」、問題形式別では「短答式」については神奈川県・全国平均よりそれぞれ5ポイント上回った結果となりました。

・改善を要する点として

課題としては「関数」領域では県に比べマイナス4ポイント、全国ではマイナス1.7ポイント下回っております。また、問題形式別では、「記述式」が県に比べマイナス6ポイント、全国ではマイナス3ポイントとなっています。

・具体的な改善案

思考判断表現での記述問題を特に苦手としており、多くの問題に取り組み、慣れていくことが必要と考えます。簡単な教科書の例題から応用まで数多くの問題に取り組み考えさせていきます。

<理科について>

・優れている点として

全体的に全国平均を下回る結果となりました。その中では「生命」を柱とする領域は全国平均を上回る結果だったので、生命に対する関心の高さがうかがえます。また、記述式の問題については全国平均と差がほとんどないことから、記述する力については概ね身についていると考えられる。

・改善を要する点として

自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか、観察や実験の結果をもとに考察していますか、の質問が全国平均より低い結果となりました。また、知識・技能の観点で全国平均より低い結果となりました。

・具体的な改善案

授業で実験についての内容を充実させていく。計画を立てる、結果をもとに考察する際に班での対話を取り入れながら、主体的に取り組んでいく姿勢を高めていきます。また、知識・技能の観点で全国平均より低いことから、行ったことを振り返り、知識の定着を促します。

3 各教科の調査結果の分析（本校の特徴や傾向）

生徒質問紙調査の結果から読み取れる本校の3年生の生徒の傾向についてまとめました。全国や神奈川県と比較して、特徴的なものを中心に抜粋してあります。

- ・携帯、スマートフォン、コンピュータの使い方における家庭での約束を、概ね守っている生徒の割合は、県や全国と比べると、だいたい守っている割合が多い。
- ・自分にはよいところがあるかという「自己肯定感」については、「ある」もしくは「どちらかといえばある」という回答が、県や全国と同水準である。
- ・学校に行くのは楽しいと思っている生徒の割合は、県や全国と比べると高い。
- ・自分と違う意見について考えることが楽しいと思う割合は、県や全国と比べると高い。
- ・平日の1日あたりの学習時間は、県や全国と比べると若干低い。
- ・新聞を読んでいる割合は、県や全国と比べると高い。特に毎日読んでいる割合が高い。
- ・平日に1日あたりの、勉強のためにスマートフォンやコンピュータなどのICT機器を使っている割合は、県や全国と比べると低い。

4 まとめ

今年度は、国語、数学の2教科に加えて、3年ごとに行われる理科の調査年に当たりました。また、生徒質問紙調査も例年通り行われました。

教科の調査における本校の結果は前ページの表の通りです。正答率に関して、国語と数学については県や全国とはほぼ同水準であるのに対し、理科については若干低い結果となりました。また、3教科とも共通する事項として、選択式や短答式の問題の正答率が県や全国よりも高いのに対して、記述式の正答率が低いということでした。基礎学力を定着させた上で、さらに応用力や思考力を向上させるために、この結果の反省を、授業改善に役立てていきます。